

さくら湖管理ニュース

No.73
12月
2007年
発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

さくら湖自然環境フォーラム2007開催

さくら湖周辺の自然環境保全と、地域の活性化を図る目的に平成12年から開催されている「さくら湖自然環境フォーラム2007」が、11月22日（木）・23日（金）にかけて、三春町大町にある三春交流館「まほらホール」で開催されました。第8回目となる今回は「三春ダム（さくら湖）ができて10年～ダムとともに歩むまち～」をテーマに、さくら湖流域の小・中学生や専門分野のみなさんの報告や紹介、パネルディスカッション、基調講演が行われ、2日間で約300人の方が聴講に訪れました。

● 第1日目 11月22日（木）

開会のあいさつ

さくら湖自然環境フォーラム
実行委員会

会長 鈴木 義孝 氏



報告1『三春ダム建設計画から今日までの歴史』

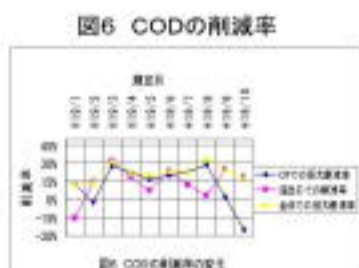
元三春町役場ダム対策室長 嶋原 稔 氏



三春ダム建設前の懐かしい写真や建設計画から現在までのエピソードを数多く紹介していただきました。

報告2『湖南の水質とその浄化』

南湖水質浄化の会 代表 佐川 演司 氏

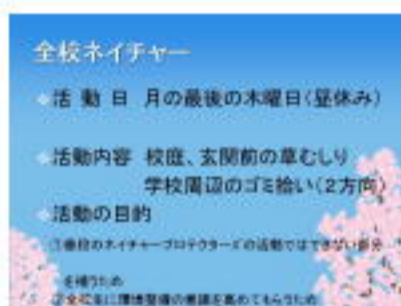


白河の高校生と炭素繊維（CF）を用いた水質浄化の取り組みや今後の課題を報告していただきました。

報告3『桜中 環境問題への取り組み』

三春町立桜中学校生徒会

前会長 三本木千尋さん
会長 橋本 美佳さん
副会長 坂上 武仁さん



桜中学校の生徒会が行っているゴミ拾いや美化活動を紹介しました。

報告4『さくら湖周辺のごみ問題と今までの取り組み』

三春町役場建設課 橋本 勝 氏



さくら湖周辺のごみの状況とシルバー人材センターや地域の方々の取り組みを紹介しました。

報告5『大切な命 ～米作りを通して～』

三春町立御木沢小学校5年生のみなさん



学童田においての米作りを通して、『水』に対する課題を追求し、『命』の大切さを改めて感じることができたそうです。発表も、劇や音楽などを織り交ぜながら、観ていて楽しくなり、そして勉強になった発表でした。

紹介1 『流域の学習ガイドブックの紹介』

～地形・地質編～

応用生態工学研究所 熊澤 一正 氏



さくら湖自然環境フォーラム実行委員会で作成している流域の学習ガイドブックで、今回、新たに作られた「地形・地質編」の紹介をしました。

流域学習ガイドブックの紹介

私たちの身近な自然について、もっとよく知ってもらうために、さくら湖自然環境フォーラム実行委員会で流域の学習ガイドブックを作成してきました。これまでに「植物編」・「動物編」作成され、今回「地形・地質編」が完成しました。さらに「水生生物編」をこれから作成し全4冊の流域ガイドブックとなる予定です。



パネルディスカッション

『ごみ問題とさくら湖を総合学習の場とするには』

コーディネーター／ステーション企画運営委員会
 会長 堀越 正文 氏
 パネラー / 三春町立桜中学校 佐藤 知巨 氏
 三春町立桜中学校生徒会前会長 三本木千尋さん
 会長 橋本 知佳さん
 副会長 坂上 武仁さん
 三春町役場建設課 橋本 勝 氏
 中郷まちづくり協会 安部 昭市 氏



はじめに中学校・まちづくり協会・町のそれぞれのごみ問題への取り組みや自然観察ステーションが行っている自然観察会の紹介をしました。恵まれた自然環境を活かし、もっと多くの人にさくら湖に集まって欲しいが、ゴミは持ち帰るなど訪れる方一人一人のマナーも必要だと思えます。これからもさくら湖の美しい自然を守るためにそれぞれの立場で活動していき、多くの方にさくら湖の自然を楽しんでいただきたいそうです。

●2日目 11月23日(金)

報告1 『三春ダムができて10年、

ダム管理所の取り組み』

三春ダム管理所 半谷 和彦 氏



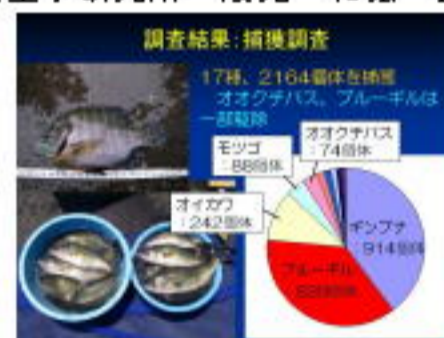
今年、管理移行10周年を迎えた三春ダムの洪水調節の実績や新しいダム管理の取り組み、全国初の「地域に開かれたダム」の指定を受けた三春ダムの整備や学習・研究の場としての利用状況、さくら湖水源地域ビジョンの報告をしました。

紹介1 『ダム湖における外来魚の現状と

三春ダムでの試験調査』

(財)ダム水源地環境整備センター 大杉 奉功 氏

応用生態工学研究所 浅見 和弘 氏



河川水辺の国勢調査(1990年～2004年まで)で行われた魚介類の結果を用いてオオクチバスとブルーギルの確認状況と、さくら湖に通した駆除手法を用いて蛇石川前ダムで行った調査結果を報告しました。

紹介2 『さくら湖で見られる鳥類の面白さ』

日本野鳥の会 橋本 充悦 氏

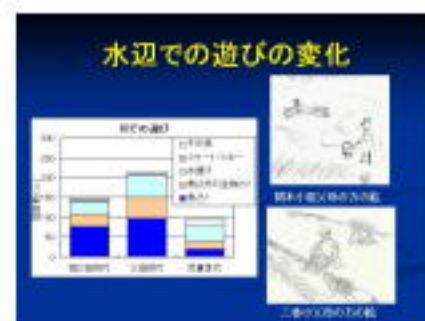


さくら湖では、四季を通して色々な鳥を見ることが出来ます。見過ごしてしまいがちな野鳥を楽しんでもらえるいくつかのポイントを紹介しました。

紹介3 『三春ダム周辺の水辺の変化

～三世代アンケート～』

応用生態工学研究所 影山 奈美子 氏



2004年度から2007年度までの4年にわたり、さくら湖周辺の小学校にご協力いただいた川についての「三世代」アンケートの調査結果を紹介しました。

基調講演

『さくら湖水源地域ビジョンについて』

福島大学 鈴木 浩 氏



上中下流のパートナーシップのもと、ダム及び周辺の自然・文化など自然を活かした水源地域における自律的・持続的な地域形成を図り、流域の住民・自治体・ダム管理者が策定主体となって、水源地域の保全と活性化のために協働していくための行動計画をまとめたさくら湖水源地域ビジョン策定の経緯や今後実現に向けての活動の目標や方向性を講演していただきました。

パネルディスカッション

『さくら湖水源地域ビジョンについて』

コーディネーター／福島大学教授 鈴木 浩 氏
パネラー／郡山市立明健中学校 佐々木 清 氏
田村市文化協会常業支部 山上 俊朗 氏
三春町教育委員会 武地 優子 氏
(財)ダム水源地環境整備センター 森川 一郎氏



さくら湖水源地域ビジョン策定に携わって頂いた方々に全国の水源地域ビジョンの活動の例を森川氏から紹介していただき、これからのさくら湖水源地域ビジョンが、さくら湖の上中下流の流域や地域の特性を十分に配慮し、地域におけるこれまでの取り組みを活かし、これからの継続的な活動につなげていくかなど、それぞれの考えや抱負を発表していただきました。

閉会のあいさつ

さくら湖自然環境フォーラム
実行委員会副会長

三春ダム管理所長 矢沢 賢一 氏

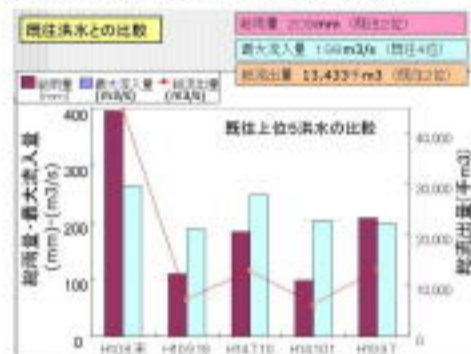


河川ダム管理技術検討会 開催

平成17年度より毎年、河川・ダムの管理に関する情報の共有及び管理技術の向上を目的として、東北地方整備局管内の関係事務所が集まり河川ダム管理技術検討会が開かれています。今年も11月27日～28日にかけて仙台にて河川ダム管理技術検討会が開かれました。

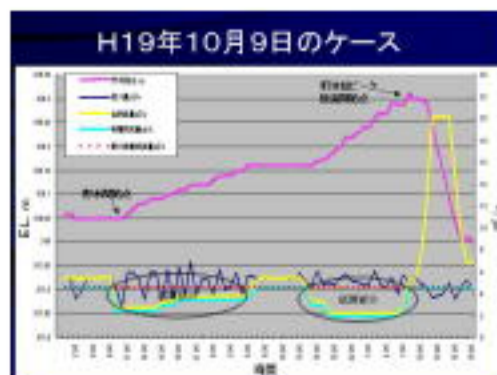
各事務所からは、日頃河川及びダムに関する管理業務に携わる職員が参加し、業務の中で取り組んでいる事例、工夫している事例、悩んでいる事例などを発表し、意見交換を行いました。三春ダム管理所からは管理係と電気通信係の2名が参加し発表しましたので、ご紹介します。

管理係からは「台風9号に伴う出水対応について」と題して、今年9月7日の台風9号に伴う出水における三春ダムでの対応について発表しました。台風9号に伴う降雨より、三春ダムでは平成14年の洪水以来の大きい出水となりましたが、その時のダムの操作や体制等について説明を行いました。



台風9号に伴う出水対応について 発表スライド

電気通信係からは、弾力的管理における管理用発電の運用について発表しました。内容については、リフレッシュ放流時の流水貯留による発電制限についてその電力量を検証したもので、近年CO₂削減のために電気等の環境に優しいエネルギーが注目されているため検討のテーマとしました。19年度に行われた2回のリフレッシュ放流時の発電への影響について整理した結果、減電の発生があきらかとなり、運用方法いかんによってはその発電への影響も大きくなることがわかりました。今後もさらなる適正な運用に努めていきます。



弾力的管理における管理用発電の運用について 発表スライド

三春ダム10周年 メモリアルツリーフェスタ 開催中

12月28日まで

今年10周年を迎えた区切りの年に合わせ、三春ダム資料館ではメモリアルツリーフェスタを開催しています。12月19日に行われたオープニングイベントでは、地元の三春町立中妻保育所を中郷幼稚園の園児たちが資料館を訪れ、メモリアルツリーの飾付けとクリスマスソングやお遊戯を披露してくれました。このメモリアルツリーは、三春ダム資料館に今月28日まで展示しております。園児たちが作ったサンタさんやリースなど素敵な作品と冬のさくら湖の景色を楽しみながら、阿武隈川流域における「安全・安心の確保・多様な自然環境との調和」に貢献したこの10年を振り返りかえてみませんか。



個性豊かなでかわいいサンタさんをメモリアルツリーいっぱい飾るとサンタクロースとトナカイが登場。園児たちは、遠い国からやって来てくれたサンタさんに「かえらないでサンタさん」や手話で「小さな世界」を発表してくれました。「おしりかじり虫」が始まると思わずサンタさんもリズムにあわせて体を動かし、賑やかなオープニングイベントとなりました。



三春ダム資料館 年末年始 休館のお知らせ

12月29日(土)～1月3日(木)まで休館となります。
管理所・展望広場出入口の門扉も閉門しておりますのでご協力お願いいたします。



11月の見学

- 7日 霞ヶ浦用水建設推進協議会 つくば支部 (24名)
- 15日 郡山地区納税貯蓄組合連合会 青年・女性租税教室 (25名)
- 15日 田村市立芦沢小学校 4年生 (12人)
- 17日 (財)イオン環境財団支援 里地・里山活動 (14名)
- 17日 三春観光ボランティアガイド (19名)
- 18日 日本大学 土木の日 (35名)
- 22日 田村市立岩井沢小学校 4年生 14名)

俳句ポスト作品紹介



あわ雪の
白きに染まる
水面かな

山々に
まかれた自然の
絵の具たら

いつのまに
唇も変わり
立冬に

編集後記

雪もハラハラと舞う季節となり、毎朝ふとんからでるのがつらい季節となりました。11月のさくら湖自然環境フォーラムが終わり「ホッ。」としたのも束の間、12月に入ると慌ただしく過ぎて行き、思えば今年も残り後わずかとなってしまいました。2007年は三春ダムが管理移行10年目ということで、七夕飾りやメモリアルツリー、三春ダム体験取材などが行われ、たくさん子ども達とふれあう機会がありました。来年も、たくさんの方が三春ダムを訪れてくれると嬉しいですね。 (石井)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

Tel 0247-62-3145 / Fax 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>